



道の駅「あびらD51ステーション」



大きな被害をもたらした昨年9月の胆振東部地震を乗り越え、復興へと着実に歩み出した安平町。今年4月、新たな観光名所となる道の駅が誕生しました。鉄道好きや家族連れが楽しめる工夫や見所が盛り沢山で、すでに50万人以上の来場者を迎えているようです。

アクセス

住所：北海道勇払郡安平町追分柏が丘49-1

電話：0145-29-7751

営業：9:00～18:00(11～3月 17:00)

休館日：年末年始(12/31～1/3)

私が
お答えします



あびら観光協会
志渡夏美さん

Q.道の駅「あびらD51ステーション」の概要を教えてください。

A.当館は安平町の人、もの、歴史などを集結し、来訪者に地域の魅力を発信する玄関口として整備されました。建物は、鉄道の要衝として発展してきた歴史的背景から駅舎がモチーフになっております。昭和時代の待合室をイメージしたレガシーギャラリーには、追分機関区のジオラマをはじめとした貴重な資料を展示。また、SL「D51 320」や、有志によるクラウドファンディングにより保存が決定した北海道仕様の特急列車「キハ183-214」の移設が6月に完了し、来場者を楽しませています。

更に、地場産品を素材にした食の提供にもこだわり、テイクアウトコーナーではシーズンごとに「カンロソフト」や「黒千石きなこソフト」を、ベーカリーコーナーでは地場産いもを包んだ「じゃがいもパン」など当地商品を販売。10月までの夏季シーズンには農産物直売所も開設し、町内や近隣生産者による新鮮野菜はもとより、ジュース、ジャム、漬物などの加工品も揃えております。また、休日にはキッチンカーなどにも出店いただき、賑わいが創出されています。

更に、地場産品を素材にした食の提供にもこだわり、テイクアウトコーナーではシーズンごとに「カンロソフト」や「黒千石きなこソフト」を、ベーカリーコーナーでは地場産いもを包んだ「じゃがいもパン」など当地商品を販売。10月までの夏季シーズンには農産物直売所も開設し、町内や近隣生産者による新鮮野菜はもとより、ジュース、ジャム、漬物などの加工品も揃えております。また、休日にはキッチンカーなどにも出店いただき、賑わいが創出されています。



「もくもくD51ソフト」



貴重な鉄道資料を展示するレガシーギャラリー

Q.多彩なイベントも好評のようですね。

A.オープニングイベントでは大変多くの方々にご来場いただきました。また、胆振東部地震から1年目の9月には、札幌のシェフのみなさんによる復興祈念チャリティ出店や、近隣農業者さんによる収穫祭なども開催しました。毎年5～10月の定例日には、町内団体の協力によりSL「D51 320」を屋外で展示したり、ミニSLを走行させています。



人気の農産物直売所は4～10月(9:00～17:00)に営業

Q.読者へのメッセージをお願いします。

A.安平町では4月のミズバショウから始まり、サクラ、菜の花、ハスなど季節ごとの花が楽しめます。特に、5月中旬から6月上旬に黄色い絨毯のように広がる菜の花は圧巻です。また、夏場は当施設から車で数分の鹿公園キャンプ場、冬場は安平山スキー場などもおすすめです。

アクセス面では新千歳空港から約30分、札幌市から約1時間と恵まれた位置にあります。当館はJR追分駅から徒歩10分、道東道追分町インターチェンジから車で3分という好立地で、いろいろなドライブコースに適していますので、ぜひお立ち寄りください。